



学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度

第10号

2025・7・18

皆で創り上げた令和7年度大運動会

～ 笑顔あふれる かけがえのない一日 ～

7月13日（日）、晴天に恵まれ運動会を開催しました。炎天下での実施となりましたが、子どもたちは最後まで全力で競技に臨み、元気な声と笑顔が運動場いっぱいに広がる一日となりました。

今回の運動会は、子どもたちの頑張りはもちろんのこと、保護者会の皆さまの力強いご支援、中学部・高等部生徒会、小学部児童会の主体的な活動によって支えられ、「皆で創り上げた運動会」となりました。紅白それぞれの元気な応援合戦、競技の運営補助やアナウンス、用具の準備など、それぞれの立場から子どもたちが主体的に動いてくれたことが、運動会の円滑な進行と温かく活気あふれる雰囲気づくりに大きく貢献しました。

勝敗を超え一人ひとりが全力を尽くす姿、笑顔で仲間と力を合わる姿、応援し応援される中で生まれる学校全体の一体感、自らの役割を果たそうと頑張る姿……。それらを温かく見守る大人たちのまなざしが随所に見られ、運動会の一日が、まさに「学びと成長の場」であったことを実感することができました。

私たち教職員にとっても、運動会という行事を通して、教育の力を再認識する機会となりました。多くの関係者の皆様のご協力に支えられて実現したこの一日が、「補習校での楽しかった思い出」として末永く子どもたちの心に残ってくれることを願ってやみません。

ご協力くださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。



ゴールを目指し一直線。



さすがに速いぞ！中学生



ねらいを定めて・・・



風をきって全力疾走



負けてたまるか、真剣勝負！



新種目「台風の日」



負けられない大人の本気

その投稿、大丈夫？

～ 中学部「情報モラル教室」レポート ～

7月12日（土）の朝、中学部において「情報モラル教室」を実施しました。

近年、ネットやスマートフォンの急速な普及により、子どもたちの生活は大きく変化しました。便利な反面、その使い方ひとつで、思わぬトラブルや深刻な人権侵害につながる危険があることを、具体的な事例をもとに学びました。

「一度ネットに載せた情報は、完全には消せない」「軽い気持ちの投稿が、相手を深く傷つけたり、自らの将来を左右する問題に発展することがある」「他人の写真や個人情報を無断で発信することは、法的責任を問われる場合もある」——こうした重大なリスクについて、生徒たちは自分自身の行動と照らし合わせながら真剣に考えていました。

また、「匿名性」「即時性」「拡散性」といったネット社会の特徴から、情報の広がるスピードや影響力の大きさを改めて認識し、「著作権」「誹謗中傷」「ネット依存」「フェイク情報」など、現代の私たちが直面しうる課題も学びました。

子どもたちは、加害者にも被害者にもなり得る存在です。だからこそ、「知らなかった」では済まされない知識と判断力を身につけていく必要があります。今回の授業は、そのきっかけとなる大切な時間となりました。



保護者の皆様へ ～デジタル時代の家庭教育～

スマートフォンやSNSが当たり前の時代に育つ子どもたちにとって、ネット上のやりとりは日常の一部であり、その中には多くの誘惑や危険が潜んでいます。

家庭でもこのことについて、継続的に話し合うことが大切です。

次のような観点について、ぜひご家庭でも確認してください。

- スマホやインターネットの使用時間、使用場所、利用目的
- SNSや動画投稿におけるマナー、書き込みの影響、投稿前の確認
- 写真や情報を扱う際のルールと責任
- アプリや課金、個人情報の取り扱い、ネット依存や睡眠障害への懸念
- 情報の信頼性を見極め方

私たち大人が、まずは正しい理解と姿勢を持ち、子どもたちの「見本」となることが求められています。ネット社会を「安心して学び、つながる場」にしていくために、保護者の皆様のご協力と日々の対話が何より重要です。